

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2023年 1月 10日

事業所名：こどもプラス三木

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	確保できている。模様替えなどで随時改善にとりくんでいる。	・広いスペースで体を動かして安心である	今後も安全と快適性を確保していく。
	2	職員の適切な配置	法令を遵守するだけでなく、安全に支援ができるよう工夫している。	・少ないと感じる ・たくさんの先生がいて安心できる	曜日や状況により変動があるため、安定したサービスの提供を目指せるよう改善を続ける。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	賃貸のため難しい場所もあるが、取り組み可能な場所は随時取り組んでいる。	・階段が少し急である	賃貸であるため工事はできないが、怪我や事故を防げるよう取り組みを続けていく。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	部屋の配置は常に見直し、改善を続けている。	概ね好評である。	今後も継続して快適なサービスを実施できるよう心掛ける。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	就業前後に報告と振り返りを実施している。		継続して行うようにする。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	利用していないが、必要があれば利用を検討する。		必要に応じて利用を検討する。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	フランチャイズ本部の研修だけでなく、県や地域の研修に可能な限り参加するようにしている。		感染症対策を行い、参加できるよう取り組む。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者のみではなく、利用者本人にも聞き取りを行っている。		利用者と保護者のニーズを取り入れた計画作成を続ける。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	運動療育に偏らず、生活面を重視した目標を立てるようにしている。	わからないが3件あり。	説明が不十分であった可能性もあるため、聞き取りやフィードバックを頂けるよう心掛ける。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	本人に伝えても差し支えがなく理解しやすい内容を目指している。		保護者だけではなく、利用者本人にも告知できるように改善していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	記録に残し、児発管と職員間の連携を徹底している。	わからないが3件あり。	より適切に支援を行い、そのことを伝達できるよう改善に取り組む。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	正職員やパート職員に関係なく意見を言える職場環境を整えており、ミーティングを行っている。		今後も良好な職場環境を維持し、プログラムの立案と実施を行う。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	過ごし方や疲れなどを考慮し、プログラムをたてている。	わからない2件あり。 ・色々なイベントを行ってもらい本人も喜んでいる	ご家庭の状況の聞き取りも続け、状況に合ったサービスや支援に取り組む。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	常に利用者になりたいことを聞き取り組むように努力をしている。偏らないよう、職員間で会議を行っている。		感染症対策でできる事が限られていたが、今後は今までより様々なことを実施できるように改善していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	始業前後にミーティングを行い、ホワイトボードなどを活用し視覚化を行っている。		取り組みを継続していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎後に記録を行い、全員で顔を合わせる時間を作り取り組んでいる。		最適化を検討し継続していく。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日、業務日報と支援記録を記入している。送迎に関しては、送迎記録に記入している。		最適化を検討しながら継続していく。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	必要であれば数か月でも見直しを行えるように会議に参加、及び聞き取りを実施している。		よりニーズに合わせた支援を行えるよう、定期以外でもしっかりと	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	児発管を中心に、現場の職員も担当者会議に参加するよう努めている。		今後も管理や指導員など適切な人物の参加や共有を続けていく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	担当者会議や相談支援員に情報提供を行っている。また、必要であれば紙面での提供も実施している。		就職先への訪問も視野に入れ検討を行っている。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	保護者を通じて、必要な情報を提供している。また、卒業アルバムなどを制作し、卒業したあとも事業所を訪問できるように通知している。		卒業生とのつながり支援なども検討している。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	市町村の中心機関との連携や、告知への協力や参加などを行っている。		今後も連携や、職員の技術向上を続けていく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	COVID-19の流行などもあり十分実施しているとは言い難い状況ではあるが、図書館などの地域施設の利用を継続している。	わからない6件あり。	感染症対策を行い、市の施設などを通して交流を行えないか検討を行う。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	市が行っている作品展への参加などで、住民の方々への事業所への理解を深めてもらうようにしている。	わからない6件あり。	地域のイベントなど、参加の幅を広げていけるように検討する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	書面だけではなく、口頭でも説明を行うよう留意している。	わからないが4件あり。	より丁寧な説明を心掛け、改善を行う。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	うつしをお渡しすると同時に、どのような狙いがあるのかが明確になる説明を心掛けている。	わからないが4件あり。	こちらも、丁寧でわからないことがないような説明や計画を心掛ける。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	地域での実施が盛んであるため、事業所が主体では実施できていない。	いいえ1、わからない2件、どちらともいえない1件あり。	必要に応じて、実施を検討していく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時だけではなく、必要であれば電話や訪問などで日頃の共有を行っている。	・日頃の様子を細かく教えていただけていい。 わからない2件あり。	課題の解消に向けて、今後も細やかな共有を続けていきたい。至らない点について、随時聞き取りを行い改善を図る。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要であれば、事業所内で時間を取り面談を実施している。	・授業のようにながら、ではなく日常のことに一緒に試行錯誤しながら取り組んでくれている	今後も、寄り添う支援を心掛けて提供していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	イベントの告知などで支援しているが、主導できてはいない。	いいえ2、わからない4件あり。	必要に応じて開催を検討していく。告知や周知については、今後も続けていく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	窓口を書面でも明記しており、事業所として迅速に対応するようにしている。	・何かあった時に言いやすい雰囲気である。 ・子どもの名前を保護者の前で呼び捨てにするのはいかがなものか！	ご意見を真摯に受け止め、改善に取り組むこととする。急ぎの時などに呼び捨てにしてしまうこともあるため、事業所内で周知徹底を再び行う。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	その日の様子の写真がある連絡帳を使用している。	概ね好評である。	効率だけではなく、好評なものを継続して残せるよう運営を行う。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	事業所便りを作り、配布している。	・SNSやお便りで様子を知れて嬉しい	取り組みを継続していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	カギのある場所で保管し、会議以外での持ち出しを禁じている。	わからない4件	口頭による漏洩などにも注意するよう、周知徹底を行った。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	実施している。	わからない6件あり。	マニュアルによる対応が可能であることを、再度周知していくこととする。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	COVID-19などの感染症対策を念頭に置き年2回、実施している。	わからない6件あり。	SNSや便りでの告知を改めて行う。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止委員会を設置し、会社と事業所単位で年1回以上の研修を実施している。		今後も取り組みを継続する。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	危険が予測される保護者への伝達を徹底している。現時点で行う必要性はないが、必要に応じて記載と実施を行うこととする。		法を遵守し、実施する体制を整えているが、定期的に検討を行う。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーに関する診断書をいただき、個人情報と共に保管している。また、一覧表を作り誤提供がないように徹底している。		今後も取り組みを続け、事故のないように取り組む。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	業務日報と連携で記録を行っている。		今後も取り組みを継続する。